



一般質問 発言の要旨

小児医療の充実について 認定こども園について 堀川 力 議員

問 ①ここ数年、小児科医院の閉院が相次いでいます。この現状に地域の方も不安を感じておられます。本市としてどのような施策を検討しているのか。②矢田認定こども園の教訓を活かし(仮称)平和認定こども園の早期推進を要望します。保育士不足が喫緊の課題です。保育士の増員と処遇について改善を図る施策を求めます。

答 ①市医師会に小児科医療機関の充実を要望し、市としてできることのアドバイスをお願いしているところです。今後も市医師会の協力を得ながら充実に努めてまいります。②臨時職員の給与アップ、正規職員採用枠拡大を人事当局と協議を進めること、広く本市の保育を広報することで(仮称)平和認定こども園の開園に備えます。

教育行政一般について 北尾 百合子 議員

問 学校の授業でICTの利用は情報活用能力を高めるという効果はありますが、近年のインターネットに係わる犯罪はとても巧妙で、児童生徒が巻き込まれるケースも増えています。危険性をしっかり知ってもらう為にも児童生徒だけでなく保護者にもできるだけ有効と思われる方法で啓発していくことが重要ですが、どのようにされるのでしょうか。

答 授業参観やPTA活動等で多くの事例を抱えている専門家や警察関係の方々に講師として招きネットの危険性を訴え、注意喚起をするとともに、「青少年だより」等を配布し、家庭でのルール作りをお願いしています。

・他の質問項目：学童保育について

京奈和道郡山下ツ道JCT附近の一般道の状況について 西川 貴雄 議員

問 京奈和道郡山下ツ道JCT附近の一般道(市道・国道・県道)は八条町・長安寺町等の昭和地区、伊豆七条町等の近隣住民にとっての生活道路ですので、利用者が困らず安全に通行できるように、分かり易い案内表示をしてほしい。また今後、京奈和道完成に向け、本市の関わり方についてもお聞かせ下さい。

答 市道については、通過車両の集落内への誤進入による地域の安全に関わる事案について、看板等の設置を行ってきました。また、京奈和事業については以前から関わっており、様々な提案・要望等を行ってきています。案内表示については、今後も国・県に要望していきます。

・他の質問項目：集中豪雨時の対応について

病院、買物、外出が気軽に出来る交通網について 東川 勇夫 議員

問 100円で乗れるコミュニティバスを各地区で運行して欲しいとの要望や通院、買物、免許証を返納された高齢者はじめ多くの市民が気軽に利用出来る交通網の整備が必要と考えますが、市の取り組みをお聞かせ下さい。

答 病院、買物、免許証返納者等の外出問題が深刻化する恐れが益々増えると認識いたしております。市内既設交通網の恒久的な維持を最重要課題と考え、市民が気軽に利用出来る交通網の充実を目指して、奈良県の医療関係課やバス会社にも要望を重ねてまいりましたが、今後も、地域のニーズに適合させた、気軽に利用出来る交通網、さらに地域で支えあう公共交通網の実現を目指して推進してまいりたいと考えております。

子どもの安全対策について 林 浩史 議員

問 犯罪や災害から可能な限り子どもを守る事が行政・地域・大人の責任である。子どもが犠牲となる犯罪が多発しているが、犯罪防止に向けて、現状の見守り事業の内容と今後の更なる取り組み強化について聞く。また、6月18日に発生した地震への早期対応が必要だが、特に通学路の危険箇所に対し、今後の対応は。

答 各小学校区で組織されている「見守り隊」等、地域組織による活動、教員の下校指導などに取り組んでおります。今後、各校での挨拶運動を地域コミュニティーの基盤とし、さらに企業等の地域力の協力を得ながら子ども達の安全確保に努めてまいります。通学路の危険箇所については、随時、点検し改修・改善に努めてまいります。